

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【浮穴小学校】

＜全学年：花の命を育もう＞

本校では、「花いっぱい運動の推進」に長年取り組んでおり、フラワーパークに咲き誇る花々は本校の自慢であり、児童の誇りとなっている。年間を通して全校児童が一人一鉢として、また、委員会活動として様々な種類の花の苗を栽培している。登校後すぐに自分の鉢に水をやったり、草を抜いたりしながら植物の成長を肌で感じる活動は生活の一部となっており、よき伝統である。毎日欠かさずに花や野菜の世話をすることにより、日々成長する花や野菜への愛情を深め、生命尊重の心が育まれ心優しい浮穴っ子が育っている。また、公民館主催の「朝顔コンクール」にも毎年出品しており、地域行事への参加を通じた栽培活動も定着している。今年度も学校花壇コンクールで「市議会議長賞」に輝いた。



＜特別支援学級：ときめき学習発表会＞

市連合行事であるときめき学習発表会への参加は、特別支援学級の児童たちに、自分にできることに精一杯取り組む力を身に付け、学級のみんなで励まし合ったり、協力し合ったりしながら一つのものを作り上げる喜びを味わうことをねらいとしていたが、今年度も中止になってしまった。しかし、この成長の機会を逃さないために、児童たちが頑張る姿を参観日で家族に見てもらう場を設定することにした。その際、児童それぞれが自分の得意なことを生かして輝けるように、出し物や役割分担を工夫した。表現が得意な児童はダンスを、音楽が得意な児童はハンドベルでの演奏を、そして、人前での自己表現が難しい児童はプログラムや小道具などの製作を担当した。「自分たちが頑張る様子を見てもらいたい」という気持ちを高めながら、日々の練習や準備を進めることができた。

